



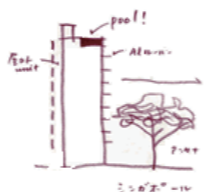
a重慶石板坡 b実測図 cヒアリング d里弄住宅 e実測風景 f集落の近代化 g配置図 hヒアリング i 住宅環境 j風水が形成する集落 k視界分析 lパノラマ分析図 m風環境と人の活動 n海と山に囲まれた集落 o風が通る川 p視野角分析 q集落実測図 r高床式住居 s公私が曖昧なデッキ空間 t風環境ともの溢れ出し u伝承表現 v住宅実測 wヤマトン x胡道の保護と更新 y立面分析 z実測図

01/ 研究目的

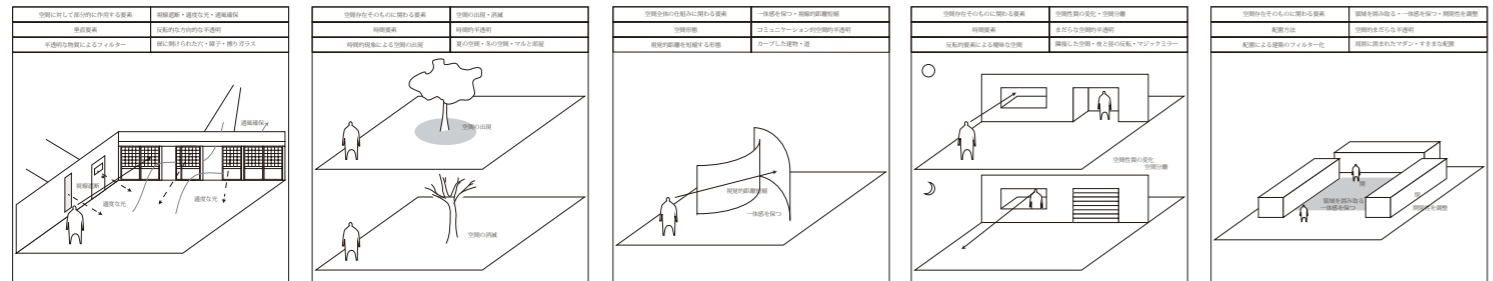
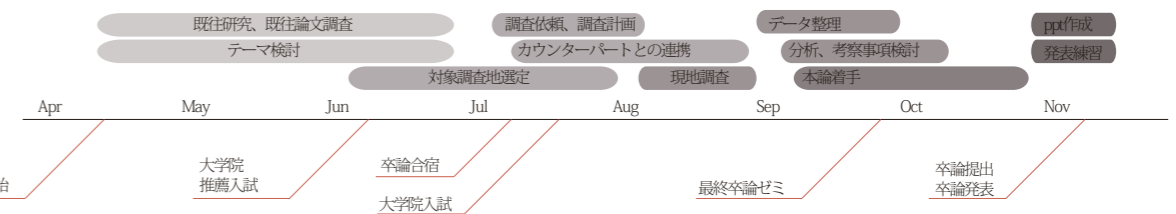
現代の都市生活においてその多くが置き去りにされてしまった”半透明空間”を定量的に分析、研究すること。既存の周辺環境に対して、設計者やデザイナーではなく、使用者自身が使用しやすく快適な環境を得るために行う空間操作を分析し、その原理を基に多様な空間デザインへと発展させることを主目的とする。

02/ 『半透明空間』の定義

『半透明空間』は、明らかで絶対的な境界によって限定されているものではなく、開放性と閉鎖性を合わせ持つ不確定な境界、つまり何かを通し何かを通さないといった透過性と遮断性を合わせ持つ境界や、その時々によって現れる境界のような、曖昧な境界によって形成された空間である。また、その曖昧な境界は、線的な境界や面的な境界だけでなく、それと同様の効果をもつ空間の層そのものや、同様の現象をもつ空間でもある境界は二つの領域を分けつつもつなぐことによって、空間としての幅広い相互関係を生み出す。つまり、曖昧な境界やそれに囲まれた空間そのものを“半透明空間”と定義する。



04/ 年間スケジュール



半透明空間を構成する要素のダイアグラム

03/ 半透明ゼミメンバー

- 研究員 稲垣淳哉 李東勲
- 助手 山田浩史
- 現D4 方愷 王薪鹏
- 現D1 夏晨峰
- 新M2 張博皓
- 新M1 佐藤拓海



2015年度重慶調査メンバー

05/ 既往論文

□東アジア集落調査

- 2016年度 佐藤拓海 『中国・上海旧式里弄住宅地における住居群の構成と空間利用の研究 -道と住宅の仕組みから見る居住地域の持続性について-』
- 2015年度 植松俊介 張博皓 『中国重慶市 斜面地居住地域における外部空間の共有性 -歴史変容する吊脚楼を通して-』
- 2014年度 高橋喜子 『香港大澳における水上棚屋の公私領域研究 -空間構成と生活のあふれ出しの比較を通じて-』
- 2013年度 山下唯 『奄美群島徳之島における集落構成と空間運営の研究 -環境調整の仕組みから見る活動形態の比較を通じて-』
- 2012年度 加藤聖也 高松めい 『東北地方太平洋沿岸地域における伝承表現と集落構成研究 岩手県田野畑村における津波被災から』
- 高橋京平 福岡あかり 『タイ高床式住居にみる集落空間の変容と持続性 -水系集落 Hua Wiang を事例として-』
- 2011年度 符珊珊 福井貴英 『風水により形成された集落形態と空間特性に関する研究 中国俞源村における風環境と住環境の調査を通して』
- 2010年度 竹味佑人 『中国・北京における胡同の保護と更新にみる都市空間の多様性 歴史文化保護区9地区の比較』
- 2009年度 松井美奈歩 荻野彰大 『中国延安市靠山式窑洞における近代化による空間構成の変容』

□空間評価

- 2009年度 野村綾子 『回遊式美術館における視覚体験のシーケンス分析 インゼル・ホンプロイヒ美術館とルイジアナ美術館の比較から』
- 後藤かほり 『坂倉準三の住宅と家具設計にみる「有機体」構成の手法』